

Go For It !

平成 30 年 3 月 16 日発行 第 12 号

福島県立相馬高等学校第 1 学年

高校 1 年生を終了する皆さんへ ～3. 11 から 7 年～

2011年3月11日から7年がたちました。マスメディアでは大々的に特集が生まれ、報道がされています。

当時私は、原発から2.5kmの双葉高校に勤務していました。その日はII期選抜の判定会議があったので生徒は休業、2時46分は部活の生徒が学校に来ているだけでした。地震直後、生徒をグラウンドに集め津波が来るという情報を得て、高台に避難しました。津波の危険も回避されたということで学校に戻りましたが校舎はヒビが入り危険なため双葉中学校へ生徒とともに移動、保護者がつぎつぎ迎えに来る中、迎えが来ない生徒はそこで一夜を過ごしました。運動部の生徒は「僕たちにできることはないですか」と言ってくれ、トイレの水を流すために、プールの水を運んでくれました。自分たちも不安で仕方ないでしょう。。こんな風に自ら行動できる生徒を素晴らしいと思ったものです。その夜は自衛隊の支給してくれた毛布にくるまり過ごしました。夜には原発で何かあったのか、屋内に退避してくださいとの連絡がありました。翌日6:30に職員の打ち合わせがあり、まだ迎えが来ない生徒をどうするか話し合っている最中、警察から原発で事故があったので今すぐ避難してくださいとの連絡があり、私たち教職員は生徒を手分けして連れ、双葉町を後にしました。先生方も生徒も避難を余儀なくされ学校が4つの地区にバラバラになり再開されたのは5月の連休明けでした。学校を再開し生徒たちとも再会を果たした時、生徒たちは口々に「学校に通えてうれしい」と言っていました。あたりまえのことができなかった震災直後、この当たり前のことに感謝できました。皆さんも思い出してみてください。まだ震災当時小学生だった皆さんですが、あの頃の不自由さを。。

相双地区は復興が目に見えて進んでいるところと、いまだに将来が見えないところが混在しています。相馬市の青のりが震災以来、初の出荷になったことなども取材されていました。うれしいニュースがある反面、いまだに福島第一原発の事故のため故郷に帰れない人々がいます。相双の南半分はまだ元気がない分、北半分の相馬地区がまず先頭を切って復興の道筋を作って相双地区を先導していかなければいけないと思います。皆さんは相馬高校生としてまた地域の将来の担い手として歩んでいかなければならないしその使命があると思っています。そのつもりで私は皆さんと接しています。

この1年皆さんは相馬高校に入学し、どのように過ごしてきましたか。今学校に通えていること勉強ができることに感謝できていますか。将来、地域のためにそれぞれの仕事の分野で活躍するためには、まだまだ知恵をつけたり経験を積むことが必要です。そのための毎日の学習であり、部活動であり、様々な学校行事なのです。今、様々なことができることに感謝し、精一杯努力をしましょう。皆さんの高校生活はあと2年。来年度は皆さんが経験した高校1年生の時間の感じ方よりさらに速いペースで進んでいくでしょう。将来に向けてたくさんのことを学び、自分の限界に挑戦しましょう。「あの震災がなかったらよかったのに」「あんなことしなければよかった」などといっても時間は後ろには進みません。

前に進むしかないのです。2年後、「〇〇しておけばよかった。」などと後悔しないように残りの2年を過ごしていきましょう。

(学年主任 大関佳奈子)



*教科書販売について

3/15(木)～25(日) 丁子屋書店(通学バック持参)で自分の選択教科を確認の上、必ず購入してください。

2年0学期進路講演会

3月6日(火)6・7校時に「2年生に向けて今すべきこと」というテーマでベネッセの齋藤輝之氏による講演が行われました。現在の入試の動向を知り、学習の基礎固めの重要性を再確認できました。裏面に講演会の生徒の感想を載せましたのでご覧ください。



百人一首大会



3月12日(月)5・6校時に第一体育館で1学年百人一首大会が行われました。4～5人で1つのグループを作り団体戦のトーナメント方式で行われ、協力して楽しく1年生最後の学年行事に取り組みました。授業で練習するだけでなく家で熱心に和歌を暗唱してきた人もおり、上の句が読まれすぐに札をとると拍手が沸き起こり熱戦が繰り広げられました。



結果は次の通りです。

1位 4組1班 2位 5組3班 3位 3組1班

4月の行事予定

- 4月 9日(月) 着任式・始業式・服装頭髪検査
- 10日(火) 対面式・部紹介・校歌練習
7校時カット(～12日)
- 11日(水) 基礎力診断テスト
- 12日(木) 写真撮影・身体測定
- 14日(土) 相高原高野球定期戦(南相馬市)
- 17日(火) 部局編成(短縮45分)
- 18日(水) 委員会編成(短縮45分)
- 19日(木) 第一回進路希望調査
- 24日(火) 若駒強歩大会
- 26日(木) 尿検査①
- 28日(土) PTA 総会
- 30日(月) 振替休日

3月29日(木)

離任式終了後
教室移動

(12:00頃放課予定)



2年0学期進路講演会

進路講演会ポイント

- 1年は特に英語が大事。連休までしっかりやる。2年では数Bの学習の量を倍にする。数学は分からない問題を粘る。考える習慣をつける。国語は古典文法の基礎の徹底。1年で古文の助動詞、2年で敬語をやった人はしっかりとれる。
- できなかった問題はヌケ・モレである。満点復習を習慣化。
- 国際系・情報系は競争率高め。
- 5教科を捨てない。
- 難易度が高い国立大がより教育リソースが充実している。(研究レベル・先生の数など)
- 2年生で差がつく。(偏差値頑張れば10アップ、頑張らないと10ダウン)
- 大学で「人文科学」(人間とは何か)「社会科学」(よりよい社会システムとは何か)「自然科学」(この自然現象は何か)を学ぶ上で「国・数・英」を使う。
- 成績が伸びた人は学習開始時間の固定により学習時間が増えている。
- スマホ(ライン)のコントロール。
- 頑張りの見える化(やってきた量)ノートを積み重ねる→自信

進路講演会の感想より

今回の講演会を聞いて、「基礎」の大切さについて改めてわかりました。もう少しで2年生になるので、偏差値が上がるように勉強を頑張りたいと思いました。まずは、テスト、スタサポの満点復習をしっかり行い、すぐにあきらめずに自分で考える力をつけたいです。今日から学習開始の時間の固定をし、志望校実現を目指して努力したいです！(1組Sさん)

最後の「行動が変われば習慣が変わる」というのが印象的でした。今回の講演は自分のこれからに必要なものなので役立てていきたいです。また、英語が苦手なのでコツコツやり、スマホをさわる時間は古典の助動詞を覚える時間に置き換えて努力していこうと思います。(2組Kさん)

私は3点固定や英語を甘くみていたことを、今すごく後悔しています。今からでも遅くはないと思うので、全力であきらめないでしっかり時間を固定して、英語を中心に2時間以上(特に3教科)を積み重ねていきたいと思います。実際の試験では、自信をあまりなくさないようにしたいと思います。(3組Mさん)

私は、入学した頃はあまり勉強していなく評定もよくなかったので後悔しています。現在もよいとは言えないです。しかし、後悔しているなら勉強しよう！基礎力をつけようと思いました。古典が苦手な単語も多いし、と思っていたのですが、英単語と比べるととても少ないし文法もきちんと覚えればきっと読むのが楽しくなると思ったので、これからも頑張る努力します。(4組Nさん)

入試の傾向や受験生のデータ等、専門的な視点からの意見がとても参考になりました。斎藤さんの熱意のこもったアドバイスは耳が痛いものもありましたが、とても心に来るものでした。受け取ったデータやアドバイスをもとにこれからの習慣を改めるよう努めたいです。(5組Mさん)

春休みの生活について

春季休業中の生活心得をしっかり読み、充実した春休みを過ごしましょう。

- 規則正しい生活をしよう。
- 交通事故などないように気をつけよう。
- 相馬高校生としての自覚ある行動をとろう。
- 不審者による声かけ事案が発生しています。継続して用心してください。
- SNSのトラブルに注意しよう。

